

## 寄附講義「四極会」

令和5年7月26日(水) 13時10分

講師 四極会会長 三浦 洋一

テーマ：「大分大学経済学部同窓会 一般財団法人 「四極会」について」

本年度第15回目の寄附講座は、昭和51年3月に卒業し、株式会社大分銀行へ入行、副頭取を経て現在は四極会会長 三浦洋一先輩による、「大分大学経済学部同窓会 一般財団法人 「四極会」について」という講義となりました。

1. 先ずは、20年にも亘る「寄附講義」の歴史に触れました。又、現役学生は入学と同時に四極会会員になる旨も説明しました。
2. 次に、経済学部の歴史に触れました。
  - 1) 1922年から1944年までは商業・商学に関する実務家養成機関（官立高等商業学校）8校目として大分高等商業学校（高商）という校名であった。

1925年に高商同窓会（四極会の前身）が発足、昭和初期に「四極会」に名称を変更（卒業生合計：2,914名）
  - 2) 1944年から1949年までは大分経済専門学校（経専）に改組、経専同窓会「四極会」に改称（卒業生合計：1,348名）
  - 3) 1949年に大分大学経済学部になる  
1969年に上野丘校舎から旦野原キャンパスへ移転、正式に同

窓会名を「四極会」とした（大学1回生から70回生卒業生合計  
18,500名）

4) 2022年6月に経済学部創立100周年を迎えた。

高商から100周年記念に至るまでに22,700余名の卒業生、  
会員数約11,000名という状況

5) 「四極会」の由来

① 大分市を象徴する「高崎山」の古名が「四極山」（しはすやま  
→しわすやま）

② 開校記念の祭歌の歌詞「紫こむる四極山」、万葉集の一句にも  
登場した経緯にある

6) 全国規模・大分県内大手の企業・議員/行政の主要職を務めた諸  
先輩を紹介

7) 「四極会」支部の状況について

8) 同窓会「四極会」の活動、特に、現役学生に関する活動項目を  
説明後、現役学生の声を知りたいとのことでアンケートへの回答を  
お願いして終講となった。



以上